

しずおか

2020年3月9日

発行

県社保協ニュース

26期 No.1

静岡県社会保障推進協議会

事務局長 小高 賢治

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

地域を守るために社会保障を充実させる運動を進めよう！

[静岡県社会保障推進協議会 第26回定期総会]

<新役員・事務局体制>

- ・ 会長：菊池 仁（県評議長）
- ・ 副会長：中澤秀一（県立大准教授）
遠山陽一郎（県民医連）
- ・ 事務局長：小高賢治（県民医連）
- ・ 事務局次長：宮倉慎二（県保険医協会）
志田剛（静岡健康友の会）
- ・ 会計監査：青池則男（県自治労連）
- ・ 事務局団体：県評・県自治労連・県生
健会・県商連・新婦人県本部・年金者
組合県本部・静岡市社保協・県民医
連・県保険医協会・障しず協



静岡県社会保障推進協議会第26回定期総会が2月22日（土）静岡労政会館で、15団体から45名の参加で行われました。前半は「公立・公的440病院への「再検証」要請を撤回させ、地域医療の拡充を求める運動を進めよう！」をテーマに鎌倉幸孝氏（日本医療労働組合連合会 中央副執行委員長）からの講演。「病院の再編統合を許したら地域をこわし、他の公共施設にも波及すると思うので、ぜひ運動を強めたい」「病院が減ることはとても不安。特に高齢者は心配。国はもっと医療・福祉に予算を増やすべき。地球の重さより命のおもさを国は考えて欲しい！」「大変参考になった。今後、このような学習会をあちこちとで企画したいと考えている」などの感想が出され（感想文から）今後の運動につながる講演となりました。

地域医療構想、請願の紹介議員複数化等を許さない！

続いて行われた総会では、鈴木県会議員から県の地域医療構想と請願の紹介議員複数化の動き等の報告「県は2025年にはベット数を約26000床にしたいと。医師については県外からも呼び込んで定着させればよいという考えで、医師数が全国的に少ないなかで（静岡県は10万人あたり39位）、増やそうという考えがない。またこの間、『請願の紹介議員を複数化にしよう』と議会改革検討委員会で提案があった。これは憲法に保障されている請願権を後退させること。全国的にこういう動きがあるかということ調べたが他にはなく、皆さんに紹介議員の複数化をさせないでほしいという団体署名を議長と各会派に上げて頂いた。91団体から物凄いスピードで集まり、複数化しようといっていた自民党が取り下げをせざるを得ないことになった」がありました。その他4団体から発言があり、最後に2019年度活動総括、決算、2020年度の活動方針、予算、新役員体制等が承認されました。